

いわた

文化財だより 第260号

磐田市スポーツ文化観光部文化財課 令和8年11月1日発行

目次

- 歴史文書館企画展
「古記録に見る相撲と磐田」・・・P1～2
- 初開催！いわた文化財フェスティバル2026 P3
- ふるさと歴史たんけん隊
「相撲の歴史に触れよう！」参加者募集・・・P4
- コラム「遺跡から分かる町の成り立ち」渡邊武文 P4

第30回磐田市歴史文書館企画展

スポーツのまち磐田



古記録に見る 相撲と磐田



「ええっ、磐田で相撲の記録を展示できるの？」

大相撲興行チラシ

テーマを目にされた方の中には、このように思われた方が多いのではないのでしょうか。

しかし、今回の展示の企画にあたって、歴史文書館が所蔵する文書を改めて調査したところ、江戸時代から昭和時代までに、地元で活躍した力士や京都・大阪・江戸へ出て活躍した力士、さらには、相撲が盛んであった^{てんぱく}天白神社（池田）、若宮八幡宮（森下）の祭礼奉納相撲、各所で開催された相撲興行などの記録が見つかりました。

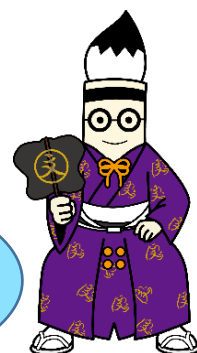
昨年は、天白神社から「四本柱免許状」^{しほんばしら}を寄贈いただき、さらには34年ぶりの大相撲巡業磐田場所が開催されるなど、相撲に関わる話題が豊富です。

磐田市では、「スポーツの持つ力」を生かして地域課題や社会課題の解決に取り組む、スポーツを核にしたまちづくりを進めています。この度「地域ブランド調査2026」において「スポーツのまち」として思い浮かぶ市町村ランキングで1位に振り返りました。これらのことから、磐田の人々がスポーツ、興行、神事などの様々な面を持つ「相撲」とどのようなかわりを持ってきたのか紹介する展示を企画しました。次ページで見どころを紹介します。

期 間：11月4日（水）～12月25日（金）
時 間：9:00～16:30（最終入場 16:00）
場 所：磐田市歴史文書館
（磐田市岡 729-1/竜洋支所内）
休 館 日：土、日、祝日
展示解説：11月29日（日）①10:00
12月13日（日）①10:00 ②14:00

11月29日（日）と
12月13日（日）は
特別開館します

11月29日（日）は
文化財フェスティバル！
詳しくはP3をチェック！



歴史文書館イメージキャラクター
文字朗（もんじろう）

みどころ1 「四本柱免許状」とは何か



天白神社四本柱免許状

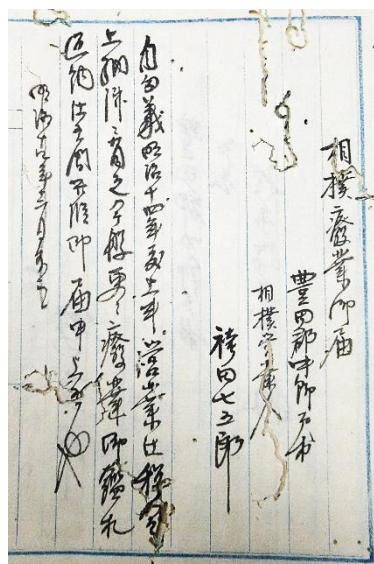
天保4年(1833)、江戸相撲会所※1の年寄であった追手風喜太郎が発行した文書です。

豊田郡池田村の天白神社で相撲を取ることが習わしであった村の若者たちへ、四本柱(土俵の四隅の柱)を立てた土俵の使用を永久に許可する書状です。

地域の人々が、正式文書を持つ相撲を誇りにしていたと考えられます。

※1 日本相撲協会の前身。
江戸時代に結成され、相撲興行を取り仕切った

みどころ2 相撲興行人「大和風歌吉」



相撲廃業御届

大和風歌吉は、江戸時代の終わりごろ、豊田郡中野戸村(現磐田市豊田)に生まれ、本名を袴田七五郎といいました。村の力自慢として成長し、天白神社や若宮八幡宮、天竜川をはさんだ近在の寺社でおこなわれた祭礼相撲※2や勧進相撲※3で活躍しました。

警察の鑑札(許可証)を得て相撲を営業していましたが、明治14年(1881)に廃業します。その年の若宮八幡宮の相撲で起きた喧嘩の責任を取ったと見られます。

顕彰碑は生家の北側の地に建っています。

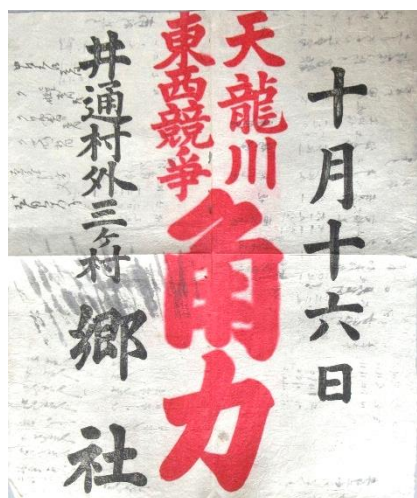


大和風之碑

※2 神事としての相撲

※3 寺社などの建立・修復の資金を集めるための相撲

みどころ3 相撲チラシ見つかる



郷社相撲チラシ
※5

このチラシは、天竜川をはさんで東西の力士による競争角力※4が、10月16日の秋祭りの日におこなわれることを告げるものです。大正時代後期から昭和時代初期のものとみられます。村中に掲示されたり、配布されたりしたでしょう。

郷土史研究者の論文などに取り上げられ、以前から存在が知られていましたが、原本の所在が不明でした。この度発見され、赤と黒の二色刷りの貴重な資料であることが判明しました。

※4 すもうの語源は「すまふ(争ふ)」。互いに打ち合うという意味の「相撲」、力比べを意味する「角力」はのちにあてられた漢字

※5 若宮八幡宮の通称

11/29(日)は！

好奇心×本×文化財

いわた文化財フェスティバル 2026

埋蔵文化財センター開館 40 周年を記念してイベントをおこないます。文化財を楽しめる様々なメニューをご用意しておりますので、ぜひご参加ください。

前日より中央図書館（埋蔵文化財センター西）で図書館フェスティバルが同時開催されます。あわせてお楽しみください。



埋蔵文化財センター(見付 3678-1)



【事前申込】文化財課職業体験 9:00～11:00

文化財課ってどんな仕事をしている？発掘現場で見つかった遺物はそのあとどうなる？本物の出土品を使って職業体験をおこないます。

対 象：小学校 5 年生以上（小学生以下は保護者同伴必須）

定 員：8 人程度（抽選）

申 込：10 月 28 日（水）から 11 月 6 日（金）までに電子申請

その他：汚れてもよい服装で参加、

またはエプロンをご持参ください。



【当日受付】弓矢体験 ①13:30～ ②15:30～

体験イメージ

縄文人になった気分で弓矢に挑戦してみませんか。みなさんの挑戦をお待ちしています！

申 込：当日受付（埋蔵文化財センター入口前集合）

その他：小学生以下は保護者同伴必須、雨天中止

【当日受付】展示解説 14:30～

旧石器時代から近世まで、出土遺物から磐田の歴史を紐解きます。

申 込：当日受付（埋蔵文化財センター 1 階受付前集合）



歴史文書館(岡 729-1/竜洋支所内)

【事前申込】歴史学習会 13:30～15:30

相撲の歴史や魅力について、磐田の相撲に関わりのある方々の話から、より多面的に捉えていただく趣旨の学習会です。

定 員：50 人（先着）

申 込：11 月 1 日（日）9:00 から電子申請



詳しくは4ページを
チェック！

【事前申込】ふるさと歴史たんけん隊

歴史文書館で相撲の歴史に触れよう！

9:00～11:00



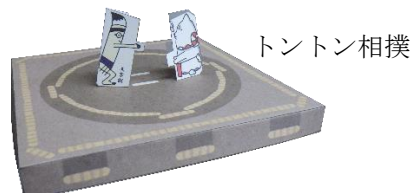
文化財課イメージキャラクターともちゃん

いわた文化財フェスティバル 2026 ふるさと歴史たんけん隊 「相撲の歴史に触れよう！」参加者募集

磐田に残る相撲の歴史について学ぼう！歴史文書館で開催している相撲に関する展示を文化財課職員が特別に解説します。自分の名前が入った書状作りやトントン相撲体験会も行います。ぜひ、長い歴史を持つ相撲の魅力を見つけに来ませんか。

【事前申込】11月29日(日) 9:00～11:00

- 場 所 歴史文書館（竜洋支所内／磐田市岡 729-1）
- 対 象 市内小学校5・6年生とその保護者
- 定 員 親子10組程度（こどものみの参加も可）
- 参加費 無料 ※応募者多数の場合は抽選
- 持ち物 筆記用具
- 申 込 10月15日（木）から11月19日（木）まで電子申請
※右、二次元コードから申込み
- 問合せ先 文化財課 TEL:0538-32-9699



トントン相撲



遺跡から分かる町の成り立ち

渡邊 武文

皆さんはご自分が住んでいる町の成り立ちを知っていますか。地名などからも町の成り立ちを知ることができますが、とりわけ地中に残された土器や石器、住居の痕跡などの埋蔵文化財は、過去の時代の様子を物語る直接の証拠になります。

例えば見付は、鎌倉時代には現在の県庁にあたる遠江国府が置かれ、今之浦という潟湖※に面し、遠江国の政治と交通・物流の中心であったことが文献史料から分かっています。しかし見付地内の見性寺遺跡から、平安時代の舟材や漁に用いるおもり、カツオの椎骨と考えられる微細な骨といった、水辺での生活をうかがわせる遺物が見つかりました。人や物が行き交う場としての性格を古代から持っていたことが発掘調査によって明らかになったのです。

見性寺遺跡は縄文時代の貝塚としても知られ、潟湖の形成の中で人々が水辺で生活するようになったことを示しています。出土遺物から、それ以降も継続的に人が住んでいたと考えられ、かつての見付の生活は水辺と切っても切れない関係であったようです。戦後の今之浦の埋立てにより、現在は見付と水辺の密接な関係をうかがうことは難しくなりましたが、地中にはまだまだ町の成り立ちを示す証拠が埋もれています。皆さんも埋蔵文化財を通し、ご自分の町の成り立ちを探ってみませんか。

※ 堆積した土砂によって外海と切り離されてできた湖



出土した舟材

編集後記
11/28（土）の図書館フェスでは、昨年好評をいただいた埋文センターを含むナイトツアーの開催が予定されています。合わせてお楽しみください！

発行：磐田市スポーツ文化観光部
文化財課（磐田市埋蔵文化財センター）
住所：〒438-0086 磐田市見付 3678-1
電話：0538-32-9699

◆WEB版は市HPから閲覧できます。磐田 文化財だより 検索

